

令和4年度シラバス

臨床工学科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
臨床生理学		講義	石川 倫子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（ 1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
①生理学で学んだことを元に、実際の医療現場で使用する脳波計、心電図、筋電図を始めとする生理機能検査についての知識を深める ②内分泌による生理機能調節について理解する				
授業の到達目標				
①各種生理機能検査（脳波や心電図、筋電図など）はどういった生体現象をどのような原理で検出し、どのように評価しているのか、に答えられるようにする。 ②各種ホルモンの名称とその働き、どこから分泌され、どこに作用するのかを答えられるようにする。				
授業計画				
回	内容			
1	心臓の生理学と心電図検査			
2	ホルター心電図、モニター心電図			
3	血流量の測定、血圧の測定			
4	脳の生理学と脳波測定			
5	いろいろな脳波検査			
6	筋の生理学と筋電図			
7	神経伝導検査			
8	肺気量分画とスパイロメーター			
9	パルスオキシメーター			
10	エネルギー代謝			
11	体温			
12	内分泌による調節 視床下部と下垂体			
13	内分泌による調節 甲状腺と副腎			
14	内分泌による調節 性ホルモン			
15	内分泌による調節 その他のホルモン			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%	基本的な事項が理解できているかの確認を目的として出題します		
レポート	20%	練習問題を解き、間違った箇所は解きなおして提出してもらいます		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
Qシリーズ 新生理学		竹内昭博	日本医事新報社	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
臨床工学講座 生体計測装置学		石原謙	医歯薬出版株式会社	
自由記載				
備考				
教科書は前期生理学で使用したものと同一ものを使います。参考文献として、生体計測装置学の教科書を指定しますので、適宜参照してください。				